

2023年11月21日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）の、再生原料を活用した「エスレンブロック RNW」が、2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」の施設整備事業に納入されました。

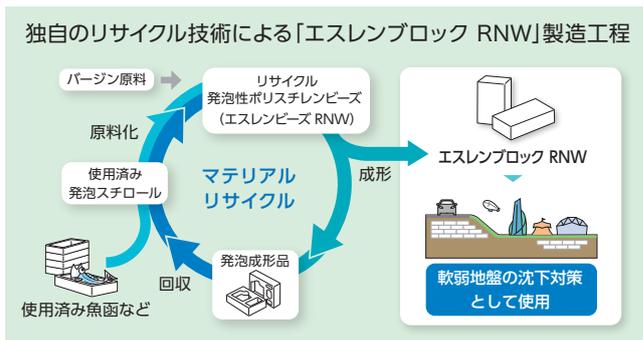
大阪・関西万博 施設整備事業に リサイクル原料を活用した「エスレンブロック RNW」が納入

1. 採用に至る経緯

大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月13日から10月13日まで開催されます。公益社団法人2025年日本国際博覧会協会では、「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」を策定しており、本方針の中でも重要視している脱炭素・資源循環に関して、「EXPO 2025 グリーンビジョン」を公表し、その準備・運営を通じたサステナブル実現に注力しています。本博覧会の施設設備においても、資源循環・3R (Reduce、Reuse、Recycle)の推進基準が示されている中で、リサイクル原料を活用した「エスレンブロック RNW」が採用され9月29日に納入しました。

2. 内容

「エスレンブロック」は、軽量性、自立性、施工性などに優れた特性を持つ軽量盛土材として、道路建設や護岸工事、軟弱地盤の対策などで広く使用されています。今回採用された「エスレンブロック RNW」は、独自に開発した技術により使用済み発泡スチロールを回収・再生した原料を活用し、リサイクル発泡性ポリスチレンビーズ原料化後、ブロック状に発泡成形した製品です。



工事概要

工事名称：2025年日本国際博覧会施設整備事業PW西工区建設工事
施工会社：竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
採用商品名称：軽量盛土材「エスレンブロック」「エスレンブロック RNW」
使用数量：約838m³
採用目的：軟弱地盤における建築物の沈下対策



「エスレンブロック RNW」施工風景

3. 今後の展開

積水化成品グループは持続可能な社会の実現に向けて、2030年には当社グループ製品のリサイクル・バイオマス原料比率を50%以上とする目標を掲げています。また、主要製品である発泡スチロールは、1970年代から業界全体でリサイクル活動に取り組むことで、国内リサイクル率は92.3%（2022年実績*）に達しており、再生利用に適した素材です。今回のようなマテリアルリサイクルを促進し、循環型社会への貢献に取り組んでいきます。

* 出典：JEPSA（発泡スチロール協会）

以上